

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石塚 俊之
 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,829	8.9	244	9.9	232	9.3	135	7.8
24年3月期第3四半期	4,434	△10.1	222	△3.3	212	△3.4	125	8.6

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 135百万円 (7.8%) 24年3月期第3四半期 125百万円 (8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	28.07	27.83
24年3月期第3四半期	26.04	25.98

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,501		2,798			42.9
24年3月期	6,419		2,707			42.1

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 2,791百万円 24年3月期 2,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,803	1.0	376	5.7	366	5.5	194	5.6	40.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	4,830,000 株	24年3月期	4,830,000 株
25年3月期3Q	800 株	24年3月期	800 株
25年3月期3Q	4,829,200 株	24年3月期3Q	4,829,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国の経済状況は、公共投資・住宅着工等では増加傾向の動きがあるものの、対外交易・生産活動・個人消費等多くの項目では横ばい又は減少傾向の動きとなっており、全般的には悪化傾向で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、エコカー補助金（以下、補助金。）及びエコカー減税（以下、減税。）の効果もあり前年を大きく上回り好調に推移いたしました。9月以降、補助金切れによる反動減や政治不安などにより前年を下回る状況となりましたが、当第3四半期連結累計期間の国内新車販売台数は3,682,282台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比20.1%増）となりました。

また、車種別で見ますと、上記補助金及び減税の対象車が多いハイブリッド車（フィットハイブリッド、プリウス等）、コンパクトカー（フィット、ヴィッツ等）、ミニバン（ステップワゴン、セレナ等）、補助金及び減税に加え車両維持コストが安い軽自動車（NBOX、ミラ等）が販売の上位を占めております。

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。

新車販売につきましては、補助金の終了までは補助金及び減税の効果もあり販売が好調に推移したこと、軽自動車「NBOX」シリーズ、「N-ONE」の新車効果が続いていること等により、販売台数は1,544台（前年同四半期比19.6%増）となりました。車検・12か月点検など整備業務を行うサービス売上、登録受取手数料等の手数料収入も増加しました。その結果、売上高は39億51百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車の入庫が増加したこと、オークションからの外部仕入も行い、販売車両の確保に注力した結果、販売台数は1,566台（前年同四半期比21.5%増。内訳：小売台数693台（前年同四半期比8.5%増）、卸売台数873台（前年同四半期比34.3%増））と増加しましたが、1台当たりの販売価格は低下しました。販売台数の増加に伴い登録受取手数料等の手数料収入は増加しましたが、整備業務を行うサービス売上は減少し、売上高は8億14百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では保険契約件数は増加しているものの、取扱い保険商品の入替え等により、保険取扱手数料が減少したことから売上高は64百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は48億29百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は2億44百万円（前年同四半期比9.9%増）、経常利益は2億32百万円（前年同四半期比9.3%増）、四半期純利益は1億35百万円（前年同四半期比7.8%増）となり、前年同四半期比でいずれも増加となりました。これは、グループでの売上高が増加したことにより、販売費及び一般管理費等の経費の増加をカバーすることができたことによるものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期末連結会計期間末の流動資産は36億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億63百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金が56百万円増加、現金及び預金が2億5百万円、商品及び製品が57百万円、その他の資産が56百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は28億55百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億50百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が3億64百万円増加、投資その他の資産が12百万円減少したことによるものです。繰延資産は1百万円となり、前連結会計年度末に比べて4百万円減少いたしました。

この結果、総資産は65億1百万円となり、前連結会計年度末に比べて81百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期末連結会計期間末の流動負債は31億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億6百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1億24百万円増加、買掛金が2億79百万円、1年内償還予定の社債が15百万円、賞与引当金が24百万円、未払法人税等が25百万円、その他の負債が95百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は5億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億97百万円増加いたしました。これは長期借入金が2億80百万円、その他の負債が16百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、負債合計は37億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期末連結会計期間末の純資産合計は27億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて90百万円増加いたしました。これは主に四半期利益1億35百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は42.9%（前連結会計年度末は42.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億5百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には8億78百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は1億76百万円（前年同四半期は1億84百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2億32百万円から主に減価償却費76百万円、賞与引当金の減少額24百万円、売上債権の増加額1億15百万円、仕入債務の減少額2億79百万円、その他の資産の減少額41百万円及び法人税等の支払額1億7百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は3億83百万円（前年同四半期は3百万円の獲得）となりました。これは有形固定資産の取得による支出3億93百万円、貸付金の回収による収入8百万円、差入保証金の差入による支出5百万円及び差入保証金の回収による収入6百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は3億54百万円（前年同四半期は3億30百万円の使用）となりました。これは借入金による収入4億13百万円、社債の償還による支出15百万円、配当金の支払いによる支出48百万円及び新株予約権の発行による収入3百万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,072千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084,568	878,771
受取手形及び売掛金	2,251,582	2,307,897
商品及び製品	335,601	277,676
その他	236,672	180,244
流動資産合計	3,908,424	3,644,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	325,454	311,321
機械装置及び運搬具（純額）	138,170	142,781
土地	1,689,171	2,065,378
その他（純額）	7,993	5,851
有形固定資産合計	2,160,790	2,525,333
無形固定資産	9,899	8,124
投資その他の資産	334,692	321,924
固定資産合計	2,505,381	2,855,382
繰延資産	5,755	1,438
資産合計	6,419,561	6,501,411
負債の部		
流動負債		
買掛金	577,323	297,767
短期借入金	2,390,442	2,515,045
1年内償還予定の社債	30,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	14,280	22,614
未払法人税等	46,249	20,280
賞与引当金	41,392	17,225
その他	342,086	247,060
流動負債合計	3,441,775	3,134,994
固定負債		
長期借入金	32,170	313,126
その他	238,185	255,157
固定負債合計	270,355	568,283
負債合計	3,712,131	3,703,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,300	210,300
資本剰余金	199,711	199,711
利益剰余金	2,294,916	2,382,208
自己株式	△325	△325
株主資本合計	2,704,602	2,791,894
新株予約権	2,828	6,238
純資産合計	2,707,430	2,798,132
負債純資産合計	6,419,561	6,501,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	4,434,837	4,829,281
売上原価	3,323,488	3,639,628
売上総利益	1,111,349	1,189,652
販売費及び一般管理費	889,169	945,530
営業利益	222,180	244,121
営業外収益		
受取利息	1,657	1,533
受取手数料	9,174	4,082
その他	2,397	3,353
営業外収益合計	13,228	8,969
営業外費用		
支払利息	15,146	15,157
開業費償却	4,316	4,316
その他	3,052	973
営業外費用合計	22,515	20,447
経常利益	212,893	232,644
特別利益		
保険解約返戻金	9,743	—
特別利益合計	9,743	—
特別損失		
固定資産処分損	12	41
特別損失合計	12	41
税金等調整前四半期純利益	222,624	232,603
法人税等	96,843	97,018
少数株主損益調整前四半期純利益	125,781	135,584
四半期純利益	125,781	135,584

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	125,781	135,584
四半期包括利益	125,781	135,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,781	135,584
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	222,624	232,603
減価償却費	69,483	76,800
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,187	△24,166
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,147	—
受取利息及び受取配当金	△1,657	△1,533
支払利息	15,146	15,157
固定資産処分損益 (△は益)	12	41
売上債権の増減額 (△は増加)	252,754	△115,451
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△199,008	9,540
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,882	△279,555
開業費償却額	4,316	4,316
差入保証金償却額	4,799	4,799
その他の資産の増減額 (△は増加)	78,978	41,078
その他の負債の増減額 (△は減少)	△37,369	△17,449
小計	458,925	△53,820
利息及び配当金の受取額	37	27
利息の支払額	△15,346	△14,921
法人税等の支払額	△104,820	△107,331
役員退職慰労金の支払額	△153,833	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,962	△176,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,940	△393,085
貸付金の回収による収入	8,046	8,046
差入保証金の差入による支出	△148	△5,500
差入保証金の回収による収入	2,234	6,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,191	△383,763
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△259,192	124,602
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△10,710	△10,710
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
配当金の支払額	△48,292	△48,292
新株予約権の発行による収入	2,828	3,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△330,366	354,010
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△142,212	△205,797
現金及び現金同等物の期首残高	818,413	1,084,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	676,200	878,771

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,515,152	850,718	4,365,870	68,966	4,434,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	174,833	2	174,836	—	174,836
計	3,689,986	850,721	4,540,707	68,966	4,609,674
セグメント利益	242,200	73,593	315,794	12,690	328,484

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	315,794
「その他」の区分の利益	12,690
全社費用（注）	△106,304
四半期連結損益計算書の営業利益	222,180

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,951,123	814,002	4,765,126	64,154	4,829,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	171,438	—	171,438	—	171,438
計	4,122,562	814,002	4,936,565	64,154	5,000,719
セグメント利益または損失（△）	259,116	96,689	355,805	△5,628	350,177

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	355,805
「その他」の区分の損失	△5,628
全社費用（注）	△106,055
四半期連結損益計算書の営業利益	244,121

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。